

「開いてますよ！」

ある日、大学での授業が終わって電車に乗っていた時のことです。わたしは座って、音楽を聴きながら、少し眠っていました。

「この席、どうぞ」

男の人の声で、目が覚めました。わたしの隣に座っていた男の人が、おばあさんに席をゆずったのです。その男の人は、わたしの前に立ちました。髪も服もおしゃれで、カッコいい人でした。でも……。

わたしは、その人のズボンのファスナーが開いていることに気づいてしまいました。

そのことを、男の人に言ったほうがいいと思いましたが、なかなか言い出せませんでした。わたしのお父さんやお母さんは、ファスナーが開いていることを「社会の窓が開いている」と言います。この表現は、昔、放送されていた「社会の窓」というラジオ番組からきているそうです。そのラジオ番組は、社会の中で「普段隠されているが大事な部分」について伝える番組でした。ファスナーの中は、「普段隠されているが大事な部分」なので、ファスナーが開いていることを、

「社会の窓が開いている」と言うようになったそうです。そういえば、学校の先生たちも、この表現を使います。

でも、わたしはまだこの表現を使ったことがありません。家族や友だちには、「ファスナーが開いているよ」と言います。知らない人には、いつも、何も言えません。この日も、目の前にいる男の人にどう言ったらいいか、たくさん考えました。考えているうちに、日本語以外の言葉では、どう表現するのが気になってきました。

わたしは自分のスマートフォンで、「社会の窓 各国語」と打ち、検索してみました。英語では「XYZ」と言うことがあるようです。これは 'Examine your zipper' を遠回しに言う表現のようです。また、本当かどうかわかりませんが、フランス語では「給料日ですか?」と聞くようです。なぜだかはわかりません。他にも国によって、「小鳥が逃げますよ」「お店が開いていますよ」など、いろいろな表現があるようです。

「次は〇〇駅、〇〇駅に停車いたします」

電車のアナウンスで、はっと顔を上げると、その男の人が電車から降りようとしていました。結局、わたしはファスナーのことを伝えられませんでした。その時、隣に座っていたおばあさんが、男の人に向かって、「あの」と、小さな声で

言いました。そして、男の人の目を見た後、ファスナーを見て、一瞬だけファスナーを指さしました。男の人は少し照れた表情を浮かべて、「ありがとうございます」と言いながら、さっとファスナーを閉めました。わたしに必要なだったのは、ファスナーが開いていることを表現する言葉ではなく、「あの」という一言を言う勇気でした。

(1069 字)

(2021.4 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.